

<b>T P N水和剤</b> <b>ダコニール 1000</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ, サンケイ*, 住友化学, 一農, 琉産 <b>原体メーカー：</b> エス・ディー・エス
<b>成分：</b> T P N〔有機塩素系 PRTR・1種〕……………40.0%	<b>性状：</b> 類白色水和性粘稠懸濁液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防火：</b> ——

### 【品目特性】……………

●化学的に安定で葉面散布，土壤灌注など各種の使用法ができる。

●胞子の発芽阻止と菌糸の侵入阻止効果が強い。

●植物体内への浸透移行性はない。予防効果的で残効性がある。

●耐性菌が発現しにくい。

●広範囲の病害に有効で，野菜病害の基幹防除剤としての効果があり，特に，藻菌類の病害（べと病，疫病など）に対して有効である。また茶，芝，果樹の主要病害についてもほとんどの病害を防除することができる。

●有効成分の粒子が微粒子となっているため少ない有効成分量で優れた効果を示す。

●フロアブル剤なので薬液が容易に調製でき，収穫物の汚れも少ない。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

●発病前から定期的に予防散布する。

●作物の葉裏にも十分かかるように散布する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

●容器をよく振ってから使用する。

●しそに使用する場合，葉に薬液が飛散しないように株元に限定して散布する。

●いちじくに使用する場合，果実に薬害が発生するおそれがあるので，果実肥大期の初期あるいは夏期高温時の散布はさける。

●稲（箱育苗）の緑化期に使用する場合，発病後の処理では効果が劣ることがあるので注意する。

●ねぎ及びわけぎに土壤灌注として使う場合，は種時から出芽直後の処理においては生育抑制のおそれがあるため注意する。

●常温煙霧として使用する際の場合は，次の事項に注意する。

○専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧する。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当っては，病虫害防除所等関係機関の指導を受ける。

○煙霧が直接作物体に当たると汚れが生じるおそれがあるので，施設上部に噴頭部を設置するなど，煙霧が作物体に直接当たらないようにする。

○作業はできるだけ夕方に行い，終了後は6時間以上密閉する。

●適用作物（きゅうり，トマト，りんご，なし，もも，花き類，芝）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

●蚕に対して影響があるので，周辺の桑葉にはかからないようにする。

●共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。

●魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。

●甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので，使用時は注意。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

●常温煙霧中はハウス内へ入らない。常温煙霧終了後はハウスを開放し，十分換気した後に入室する。



# 【適用と使用方法】 .....

## ●散布剤として使う場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用流量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	T P N を含む農 薬の総使用回数	
り ん ご	斑点落葉病 モニリア病 黒星病	1000 倍	200～ 700 ℓ	45 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
な し	黒斑病 黒星病						3 回以内 (休眠期は 1 回以内)	
も も	灰星病						6 回以内	
ネクタリン	黒星病			前日まで	2 回以内		6 回以内	
い ち じ く	疫病 黒葉枯病 黒かび病 さび病	2000 倍					2 回以内	
キウイフルーツ	果実軟腐病 すす斑病	500～1000 倍 500 倍					60 日前まで	7 回以内
マ ル メ ロ	ごま色斑点病	1000 倍		30 日前まで	4 回以内		4 回以内	
か り ん	黒点病 ごま色斑点病 白かび斑点病			45 日前まで	3 回以内		3 回以内	
パッションフルーツ	円斑病 疫病			14 日前まで				
パ バ イ ヤ	炭疽病			500～1000 倍	前日まで		5 回以内	5 回以内
ばれいしょ	疫病 夏疫病	7 日前まで						
やまのいも	炭疽病	1000 倍		30 日前まで	6 回以内		6 回以内	
やまのいも (むかご)	葉渋病 つる枯病			45 日前まで				
もりあざみ	ステムフィリウム葉枯症			30 日前まで	3 回以内		3 回以内	
ご ぼ う	うどんこ病			前日まで	5 回以内		5 回以内	
らっかせい	褐斑病	500 倍		14 日前まで	4 回以内		4 回以内	
き ゆ う り	べと病 炭疽病 うどんこ病 灰色かび病 黒星病 褐斑病	1000 倍		100～ 300 ℓ	前日まで		8 回以内	10 回以内 (土壌灌注は 2 回以内、散布及 び常溫煙霧及び くん煙及びエア ゾル剤の噴射 は合計 8 回以内)
に が う り	炭疽病 うどんこ病 べと病 斑点病 つる枯病		4 回以内					4 回以内
ズ ッ キ ー ニ	うどんこ病							
す い か	炭疽病 つる枯病		700 倍 700～1000 倍		3 日前まで		5 回以内	5 回以内
メ ロ ン	うどんこ病	700 倍						
	べと病 つる枯病	700～1000 倍 1000 倍						

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	T P Nを含む農 薬の総使用回数	
か ぼ ち や	べと病 白斑病 うどんこ病	1000 倍	100 ～ 300 ℓ	7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内	
ト     マ     ト	疫病 輪紋病 葉かび病 炭疽病 灰色かび病 すすかび病 うどんこ病			前日まで	4 回以内		6 回以内 (土壌灌注は 2 回 以内, 散布及び くん煙及びエア ゾル剤の噴射 は合計 4 回以内)	
	ミニトマト				褐色輪紋病		2 回以内	2 回以内
な            す	斑点病				4 回以内		4 回以内	4 回以内
	黒枯病 灰色かび病 すすかび病 うどんこ病							
オ     ク     ラ	葉すす病				5 回以内		5 回以内	
キ     ャ     ベ     ツ	べと病 根朽病			14 日前まで	2 回以内		3 回以内 (は種又は定植前 の土壌混和は 1 回 以内, 散布及び エアゾル剤の噴射は 合計 2 回以内)	
は     く     さ     い	白斑病 べと病 黒斑病 白さび病			7 日前まで			3 回以内 (は種又は定植 前の土壌混和は 1 回以内, 散布 は 2 回以内)	
	ひろしまな			28 日前まで			2 回以内	
だ     い     こ     ん	白さび病 ワッカ症 白斑病 炭疽病			45 日前まで	3 回以内		3 回以内	
な     ば     な     類 (なばなを除く)	白さび病 べと病			60 日前まで				
な            ば            な	白斑病 黒斑病			出蕾前 但し, 収穫 21 日前まで	2 回以内		3 回以内 (土壌灌注は 1 回以内, 散布 は 2 回以内)	
ブロッコリー	べと病							
カリフラワー				出蕾前 但し, 収穫 14 日前まで	3 回以内		3 回以内	
た     ま     ね     ぎ	べと病 灰色かび病 白色疫病			7 日前まで	6 回以内		6 回以内	
ね                    ぎ	黒斑病 べと病 小菌核腐敗病 葉枯病 さび病			14 日前まで	3 回以内		4 回以内 (土壌灌注は 1 回以内, 散布は 3 回以内)	

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	T P Nを含む農 薬の総使用回数	
わ   け   ぎ	黒斑病 べと病 小菌核腐敗病 葉枯病 さび病	1000 倍	100 ～ 300 ℓ	14 日前まで	2 回以内	散布	3 回以内 (土壌灌注は 1 回以内, 散布は 2 回以内)	
ら   つ   き   よ   う	灰色かび病			14 日前まで	3 回以内		3 回以内	
に   ん   じ   ん	黒葉枯病			7 日前まで	5 回以内		5 回以内 (種子への吹き付け 処理は 1 回以内)	
セ   ル   リ   ー	斑点病 萎縮炭疽病			21 日前まで	2 回以内		2 回以内	
レ   タ   ス	灰色かび病			14 日前まで	3 回以内		5 回以内 (土壌灌注は 2 回以内, 散布 は 3 回以内)	
	すそ枯病 べと病							
リーフレタス				21 日前まで	2 回以内		2 回以内	
み   つ   ば	べと病		根株養成期 但し, 収穫 75 日前まで	3 回以内	3 回以内			
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病 疫病		100 ～ 400 ℓ	前日まで	4 回以内		4 回以内	
し   ょ   う   が	紋枯病 白星病		100 ～ 300 ℓ	14 日前まで	5 回以内		4 回以内	5 回以内
み   よ   う   が (   花   穂   )	葉枯病 紋枯病	みょうが(花 穂)の収穫14 日前まで 但し花穂を収 穫しない場合 にあつては開 花期終了まで			4 回以内	4 回以内		
み   よ   う   が (   茎   葉   )								
に   ん   に   く	葉枯病 黄斑病 白斑葉枯病 さび病	7 日前まで		6 回以内	6 回以内			
ゆ   う   が   お	炭疽病 うどんこ病 べと病	前日まで		5 回以内	5 回以内			
う   り   類 (漬物用, 但し, ゆうがをおを除く)	炭疽病 うどんこ病 べと病 つる枯病			4 回以内	4 回以内			
て   ん   さ   い	褐斑病	30 日前まで		3 回以内		3 回以内		
う                    ど	黒斑病	根株養成期 但し, 収穫 200 日前まで	4 回以内 (散布は 3 回 以内, 根株 瞬間浸漬は 1 回以内)					



●土壌灌注として使う場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	T P Nを含む農薬 の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (リゾープス菌)	500～ 1000倍	育苗箱* 1箱当たり 500 ml	は種時から 緑化期 但し、は種 14日後まで			2回以内
		1000～ 2000倍	育苗箱* 1箱当たり 1 ℓ				
きゅうり	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	1000倍	3 ℓ/m <sup>2</sup>	は種時又は 活着後 但し、定植 14日後まで	2回以内		10回以内 (土壌灌注は2回 以内、散布及び常 温煙霧及びくん煙 及びエアゾル剤 の噴射は合計8 回以内)
トマト							6回以内 (土壌灌注は2回 以内、散布及びく ん煙及びエアゾ ル剤の噴射は合 計4回以内)
みずな	立枯病			は種時		土壌灌注	1回
ねぎ	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	500倍	セル成型 育苗トレイ1箱又 はペーパーポット 1冊当たり** 0.5 ℓ	出芽揃い後 (出芽3日後 から10日後 まで)	1回		4回以内 (土壌灌注は1 回以内、散布 は3回以内)
わけぎ			0.5 ℓ/m <sup>2</sup>				3回以内 (土壌灌注は1 回以内、散布 は2回以内)
レタス	ビッグベイン病	1000倍	1.5～ 3 ℓ/m <sup>2</sup>	42日前まで	2回以内		5回以内 (土壌灌注は2 回以内、散布 は3回以内)
ブロッコリー	根こぶ病		3 ℓ/m <sup>2</sup>	定植時	1回		3回以内 (土壌灌注は1 回以内、散布 は2回以内)

\* 育苗箱は 30×60×3 cm, 使用土壌約 5 ℓ

\*\* 育苗トレイ又はペーパーポットは 30×60 cm, 使用土壌約 5 ℓ

●種子消毒として使う場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	T P Nを含む農薬 の総使用回数
にんじん	黒葉枯病	12倍	乾燥種子 1 kg当たり 60 ml	は種前	1回	吹き付け 処理 (種 子消毒機 使用)	5回以内 (種子への吹き 付け処理は 1回以内)

●常温煙霧として使う場合

作物名	適用場所	適用 病虫害名	希釈 倍数	10a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	TPN を含む農業 の総使用回数
きゅうり	温室，ガラス 室，ビニール ハウス等密閉 できる場所	べと病	33 倍	10 ℓ	前日まで	8回以内	常温 煙霧	10回以内 (土壌灌注は2 回以内，散布及 び常温煙霧及び くん煙及びエア ゾル剤の噴射は 合計8回以内)
なす		うどんこ病				4回以内		4回以内